

燃え広まれ反戦の炎 起ちぬ

次期自治会の任務はこれだ

課題と任務にたる6つの柱

全市大学及諸君！「燃え広まれ反戦の炎」起り上れ！大学自治擁護のために！市大自治会の大衆的・民主的再生を！のスローガンのもと、われわれは今選挙に立候補した。いうまでもなく、中執選挙の意義は、次期自治会の任務をめぐる政策論争の場であり、全学友がこの政策論争に参加し、政策的・一致に基づく全学友の固い意志統一をかりとする場である。この選挙戦を通じてかりとられた全学友の緊く固い意志統一は、疑いもなく、次期市大自治会の大衆的・民主的再生のための巨大な一里塚となるであろう。未だ選挙戦が明確な政策的対決を設けしえない段階で、われわれは再び「次期自治会の6つの任務」を提起し、全学友の支持を期待する。

一 平和と民主主義の課題

- ・全民主勢力の団結の力で今年をベトナム反戦勝利の年に！
- ・6月行動月間を全大阪二万の青年労働者と連帯し、全関西学生6千名集会で斗い抜こう！
- ・全世界平和勢力の力でパリ会談を民主主義的講和のオースプに！
- ・戦争と侵略の共犯者佐藤内閣打倒！
- ・参院選を安保破棄、憲法擁護、平和と中立の政府実現の足場に！

3月31日のジョンソン手明は米帝のベトナム戦略の失敗を内外に刻印する一里塚であった。全世界反戦勢力の統一した闘いをもってパリ会談をベトナム戦争の民主主義的解決の足場としなければならない。侵略者と侵略被害者への追責戦をわれわれは佐藤内閣打倒にむけ、6・15全関西学生6千名集会で闘う。ベトナム反戦斗争の大衆的高揚をさらに参院選に結びつけ、参院選を安保破棄、日本の中立化をかりとする一大ステップとしよう。

経法文壇家医

全学区

統一会議 派同学民議公統

よりよい学生生活のために

- ・教壇と共に民主的サークル部室管理規約を早期につくりあげよう！
- ・今年こそオニ学生ホール、二百名新寮（一期分）をかりとろう！
- 学生関係予算の大幅増加を！
- 中執の指導の下、新寮建設推進委員会を立ちにつくろう！
- 授業金授業料減免制度の拡充を！

現在われわれ学生の生活を守るために、基本的なかつ最も緊急な要求は、オニ学生ホールと二百名新寮をかりとることである。すでに寮建設のための用地は信太山に確保されており、唯一の障害は自治会と大学協議会との間に寮規約がないことである。昨年度建設された新サークル部室の管理規約とあわせて、早急に寮・部室規約をつくりあげると共に、新寮建設推進委員の設置と大衆的な厚生部を確立し、よりよい学園生活にむけて前進しよう。

教育、文化、サークル、スポーツの課題

3

- ・学部委員会連合を結成し、教養教育改善の第一歩をふみだそう。
- ・社会計画論の単位の不平等を撤廃し、「科学としての部落問題」を更に充実させよう。
- ・19回大学祭をクラス、サークル活動を基礎にした全学的フェスティバルにしよう。
- ・1回総合シンポの成果をさらに発展させよう。
- ・文才連の発化とC.L.C.へサークルリーダースキヤンプの大衆的發展を。
- ・音サ協の強化と研サ連の早期結成を。

大学自治擁護の課題

4

- ―教官、学生の意志統一の下、全大学人による大学自治擁護の闘いに起とう。
- ―自民党の市大介入断固反対。

自らの指のゆわいでいるところに学問の発展と平和の保障はない。現在、大学自治は三派「全学連」による内部からの自治破壊と、それを契機とした権力の直接的介入、反動的自治破壊によって危機に瀕している。かかる重大な情勢の中で大学の自治を守りぬいていく道は唯一つ、教職員、学生の全学的な連帯以外にはありえない。昨秋、自民党の市大攻惠を一応くいとめたのは、教授会と学生自治会の強固なスワラムが存在したゆえであつた。われわれは新サークル部室規約作成過程に示された民青派、三派系、自称「統一会議」(主流派)諸君にちの、学生施設の学生単独管理論、教官敵視論を弾固非し、全大学人による大学自治擁護斗争を組織していかなければならない。

自民公公の民主的運営を確立する課題

5

- ―ヘルメット、棍棒戦術を拒否し、大衆的民主的學生運動を再建しよう。
- ―学園から一切の暴力を排し、自治会の民主的運営を確立しよう。
- ―政治主義を排し、クラス学友に支えられた自治会活動の多面的展開を。

4月以降、社学同(全学連系)の暴力的中執破壊、統

一会議(主流派)のビラ強奪、固くテロ、看板持ち走り、焼き打ち、等の暴力事件が連続的に発生している。このような、自治会内部の意見の相違を暴力によって解決しようとする傾向を弾固として排し、討論を通じて自治会の民主的運営を確立していかなければならない。われわれは自治会を一部活動家の政治斗争機関にしようとする政治主義を拒否し、クラスの多面的活動に支えられた大衆的な自治会建設を推進していこう。ヘルメット、棍棒戦術を拒否し、市大自治会の大衆的、民主的再生をなそう。

学生運動の統一

―単一全学連の課題

6

- ―5・6月ベトナム反戦斗争の街頭に立ち、6・15全関西学生総決起の市大集会を軸に、全国全自治会の行動の統一を。
- ―大阪府学連、兵庫県学連の強化の上に関西学連、単一全学連に前進しよう。
- ―19回「全学連」への市大、全国全自治会共闘活動の撤回せよ。

学生運動の不幸な分裂は、民青派、三派系諸君が「課題の一致に基づく行動の統一」を拒否し、分裂主義を公然と採用していることに起因する。従つてこの分裂の克服は、「行動の統一」の回復、その実現から始められるべきであり、そのために6月斗争を全国全自治会が共同して闘ふことこそ、単一全学連再建への真の第一歩にரிய。いま緊急に必要なであり、現実的可能性をもっているこの任務に全力を集中し、その成果を拡大していくために自称統一会議(主流派)諸君の如く、「6月自治会共闘結成」をもちこむのは、結局は前二者のセクト主義に新になセクト主義を対置することになる。

6月共同斗争の先頭に立ち、地方学連の統一の再建→単一全学連再建にたゆみなく前進しよう。

燃え広がる反戦の炎

起ちあがり大学自治擁護の為に

市大自治会の大衆的

民主的再生を。

統一会議(民学同派)